

研究課題名	非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)における magnetic resonance elastography (MRE) および proton density fat fraction (PDFF) を用いた線維化促進因子の検討 －肝臓の高度脂肪化が肝臓の線維化を促進するかの研究－
対象疾患	非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)
研究責任者	消化器内科主任部長 吉田雄一
研究実施期間	承認日～2023年6月30日
研究の内容	<p>【目的】 高度の肝臓の脂肪化が肝臓の線維化を促進するかを明らかにすることを目的とした研究</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2018年12月1日から2022年10月31日までの間で脂肪肝（NAFLD）として2回以上、MRI検査（MRE[肝臓の硬さ]とMRI-PDFF[肝臓の脂肪の量]の測定）を受けた方 ●利用する検体、カルテ情報 年齢、性、身長、体重、糖尿病の有無、脂質異常症の有無、高血圧の有無、MRE値（肝臓の硬さ）、MRI-PDFF値（肝臓の脂肪の量）、血液検査（肝機能検査）、肝組織（肝生検を受けた方） <p>【提供方法】 登録症例のデータは、過去の病歴や検査結果を観察することにより抽出し大垣市民病院消化器内科に集積します。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、病院の研究責任者が保管・管理します。</p> <p>【利用範囲】 本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含みません。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報は利用しません。利用施設は、大垣市民病院消化器内科、名寄市立総合病院消化器内科、市立吹田市民病院消化器内科、愛知医科大学肝胆膵内科、大阪大学です。</p> <p>【情報管理責任者】 大垣市民病院消化器内科部長 豊田秀徳</p> <p>【拒否機会の保障】研究対象者の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止します。</p>